

新年のごあいさつ



わかやま地域 地域本部長
半田 悦雄

明けまして
おめでとぅいづいます

組員・地域の皆さまにおかれましては、お健やかでよい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

毎年進行する温暖化、令和7年の夏期は特に、かつてない猛暑に見舞われました。環境の変動が農作物の生育に与える影響は大きいですが、高品質安定出荷をいただいていることは生産者の皆さまの努力の賜物であり、JAは日本の食を支える皆さまを全力で支援していく所存です。

さて、4月1日に県下8JAが1つとなりました。和歌山県JAビルを本店とし、これまでの各JAは地域単位で様々な取り組みを行っています。

当地域の農業振興につきましては、栽培環境、品目に応じた独自の支援策を講じ、農業所得の向上、生産基盤の強化に取り組みしました。また、和歌山産農産物の消費宣伝活動にも力を入れ、食卓への浸透、更なるブランド力の強化を進めているところです。

地域貢献活動では、男性組織「やろう会」、女性会と連携した親子野菜収穫体験をはじめ、独自の総合学習プログラム「野菜袋栽培体験学習」、交通安全教室など、地域に根差した協同組合を目指して一層の取り組み強化に努めてまいります。

組員、地域の皆さまから「合併してよかった」と言っていただけ、よう、持続可能な地域農業、地域共生社会を目指し、役職員一丸となつて責務を果たしてまいりますので、ご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、令和8年が皆さまにとりましてご健勝で、幸多き一年でありますようご祈念申し上げます。新年のあいさつとさせていただきます。

令和7年産米の作況と集荷実績

令和7年産作況

今年度は梅雨の期間が平年より3週間程度短く、梅雨入りした6月の降水量は多くなりましたが、梅雨明け後の7月からは一時的に強い降雨はあったものの、生育期間を通して降雨の少ない年となりました。また、平均気温も高く、晴天も続いたため生育は促進され、収量も平年に比べ1割程度多くなりました。

品質については8月以降の気温高が影響し、早生品種「キヌヒカリ」、晩生品種「ヒノヒカリ」で高温障害の「心白」の発生が多くなりました。生育期間を通して高温が続いたため「紋枯病」の発生が多く見られましたが、カメムシ類の被害は適切な防除により斑点米での等級落ちは少なくなりました。令和8年産についても、病害虫の発生が予想されるため適期防除に努めてください。

令和7年産米品種別等級別比率

品 種	1 等	2 等	3 等	外
ハナエチゼン	38.6%	61.4%	0.0%	0.0%
キヌヒカリ	0.4%	75.0%	24.3%	0.3%
にじのきらめき	7.7%	89.1%	2.0%	1.2%
きぬむすめ	10.5%	84.9%	4.4%	0.2%
ヒノヒカリ	0.0%	71.7%	28.3%	0.0%
にこまる	38.4%	59.3%	2.2%	0.1%
つや姫(こだわり米)	26.2%	73.8%	0.0%	0.0%
にこまる(こだわり米)	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
等級別比率※	12.5%	80.8%	6.4%	0.3%

※各等級の数量(袋)÷総数量(袋)

令和7年産米検査及び集荷実績 (10月末時点)

等 級	数量(袋)	前年数量(袋)	前年対比(%)
1	4,385	6,277	69.9%
2	28,295	26,285	107.6%
3	2,230	4,695	47.5%
外	116	216	53.7%
計	35,026	37,473	93.5%

※2等の主な格付け理由 「整粒不足」73%、「心白・腹白」24%

※3等の主な格付け理由 「心白・腹白」66%、「カメムシ」23%

農家のための 最新情報

あぐり 最前線



※防除薬剤の数字は、安全使用基準【希釈倍数・（収穫何日前まで使用可能か／通算使用可能回数）】を表しています。農業安全使用基準を守り、使用してください。

キャベツ



厳寒期に入り、ズルケ菌核病の発生が増加するので、防除を徹底してください。

●病害虫防除（本田防除）

- ▽1月上旬 ※春のかほりSP③
- ・ファンタジスタ（顆） 200倍（3日／3回）
- ▽1月下旬 ※春のかほりSP①
- ・アクセル（フ） 1000倍（前日／3回）
- ・シグナムWDG 1500倍（7日／2回）

ブロッコリー



●病害虫防除

◎組織内べと病

茎の内部が黒茶色になる症状で、風雨などで、葉の気孔や傷口から侵入し発病します。べと病の病原菌は糸状菌（カビ）です。葉裏のべと病菌の胞子は、花蕾に

雨や露があると、そこに菌がついて花蕾や茎の組織内に侵入します。

発生は、春と秋の気温が低いとき（7〜13℃）に、降雨が続くと多くなります。昼夜の気温差が大きいつきに結露が生じると広がります。また、密植により通気性が悪いと、多湿条件となり広がります。

対策としては、予防的に薬剤を散布します。葉が6〜7枚程度のときに1回目、花蕾ができる前に2回目の防除をして、徹底防除をしましょう。

- ・ランマン（フ） 200倍（3日／3回）
 - ・シグナムWDG 1500倍（7日／2回）
- 発生が見られたら被害株や発病葉などは取り除いて圃場外に持ち出しましょう。

新ショウガ



促成栽培では種イモの植え付け時期を迎え、今後6カ月間の肥培管理が始まります。

●定植

ハウス栽培では、根茎腐敗病が最も恐ろしい病気の1つであり、種イモからの

一次伝染を防ぐことが大切です。無病の種イモ選定には気を使いますが、ショウガ栽培の基本です。十分心掛けて、慎重に選定してください。腐り、変色したものは病原菌を保菌している可能性があるため必ず除去してください。また、未熟で肥大の不充分な種イモは発芽能力が半減するので、充実したものを使用してください。

小割作業はできる限り暖かい場所です、よく芽を確かめて行ってください。

貯蔵庫から取り出した種イモは、できる限りその日に植え付けるように心掛けてください。

ショウガは地温が15℃以上になると発芽し、生育が始まります。植え付け時期は最低地温15℃以上を確保できるように、内張りカーテンや保温カーテン、ビニールマルチ等を利用し、地温が下がらないように工夫してください。

地中暖房で保温する場合は、生育初期に温度を上げすぎないように注意してください。

雑草が発生する場合は、植え付け直後にトレファノサイド（粒）2.5（6kg／10a）を全面土壤散布してください。

*注意事項

①定植面積に応じた収穫時期を生産者で判断して、収穫までに180日を超えないように定植してください。

②誰が見ても分かるようにハウスのつま面（戸）の所に**油性の黒マジック等で定植日を記入してください**（定植後すぐに記入）。

③圃場別作型表を提出してください。

ピーマン



加温栽培のピーマン苗は株間を広げ、隣の葉と重ならないようにします。温度管理は昼25〜27℃、夜間20℃前後にします。

無加温の苗は鉢上げが終わり、本格的な育苗期です。水分補給や温度管理に十分注意し、健全な苗を育てましょう。元肥については、特に遅くまで収穫を続けたハウスで肥料が残っていますので、必ず塩類濃度を調べ、適正な施肥を行ってください。

●病害虫防除

◎うどんこ病・斑点病

近年、発生時期が早期化しています。多発すると落葉による生育不良や減収につながるため、予防を徹底してください。

- ▽予防
- ・アフエット（フ） 200倍（前日／3回）

ミカン



近年、カイガラムシ・ダニ類が発生している園地が多く見受けられます。そのため、この時期の越冬病害虫の防除が重要です。

●病害虫防除

◎カイガラムシ・ダニ類

強い寒波が来る頃（1月中旬）までに、暖かい日を選んで、マシン油乳剤（97％）60倍で防除しましょう。この剤は、油膜で窒息死させる剤ですので、葉裏はもち

ろんのこと、幹からしたたり流れるほど丁寧に散布しましょう。ただし、ミカンの収穫終了7〜10日後の樹勢が回復してから散布してください。

1月中に散布できない場合は、発芽前の3月にマシン油乳剤(97%)80倍を散布しましょう。なお、中晩柑などでかいよう病の防除としてボルドー液を散布する園地では、マシン油乳剤(97%)との散布間隔が1カ月以上必要です。注意してください。

◎黒点病

間伐、整枝、剪定を徹底し、園内や樹冠内部への採光、通風を良くしましょう。伝染源となる枯れ枝、剪定枝は園内や園周辺から持ち出し、処分してください。

●土壌改良

一般に土壌改良作業には、深耕、土壌のpH調整、有機物や改良資材(堆肥・石灰)の施用などがあります。

土壌の酸性化はマンガン過剰による異常落葉、マグネシウム欠乏、窒素の肥効低下など樹の生育に悪影響を及ぼします。石灰質資材の施用により是正を図ってください。石灰は下層へ移行しにくいので深耕・中耕と合わせて行うと良いでしょう。

○土壌改良剤(施用時期:1〜3月)

・完熟堆肥(200kg/10a)

または

・新ふりかけ堆肥eco(200kg/10a)

・苦土入りセルカ2号(200kg/10a)

●収穫 ※中晩柑類

樹上で十分に着色し熟期に達した果実から収穫し、予措・貯蔵します。不知火

は、完全に着色し熟期を迎えたものから収穫しますが、着果の部位によって酸のバラツキがでます。外なり果は減酸が早く、内なり果は酸高や着色も悪いので、収穫作業は外なり果から始め、内なり果は遅らせて収穫しましょう。

ウメ



風当たりが強い園地では防風対策を積極的にしましょう。

防風対策には、防風樹の植栽や防風ネットの設置が有効です。強風を防ぐ目的は、開花期のミツバチの受粉効率をあげるためです。風が強いとミツバチの活動範囲が狭まり、ウメの花に十分な受粉が行えません。

また、3月以降、風当たりが強い園地では、かいう病の発生が多く、その発生を抑制することができず、さらに、新しく植えた小木の倒伏や、枝の先端が折れてしまうのを防止する効果も期待できます。

モモ



土づくりは十分にできていますか？

モモの樹は、他の果樹に比べて生育が早く、結果期に入るのが早い反面、樹が弱り生産性が低下するのも早いです。そのため、土壌条件を良くすることで、高品質果実を安定して収穫できるよう努めましょう。

モモの樹は、根が浅く、養分や水分の過不足に敏感に反応します。土壌が硬くなると通気性や排水性が悪くなり、根の伸長が妨げられるので、養分・水分が土壌中にあっても吸収できずに樹勢が低下する場合があります。また、モモは耐水性が弱いので、湿害などによって樹勢低下が起こりやすいです。土が硬化している園地では、堆肥を施用することで改善しましょう。

イチジク



1月は土づくりや寒害対策作業を行います。

樹勢が低下している園地では、完熟堆肥(200kg/10a)または、新ふりかけ堆肥eco(200kg/10a)を施用してください。

イチジクは中性に近いアルカリ性の土壌を好むので、苦土セルカフミン(120kg/10a)を施用し土壌改良に努めましょう。カイガラムシ・ダニ類の発生が見られた園地では、石灰硫黄合剤10倍(発芽前)に展着剤(ネオエステリン500倍)を過用し散布してください。

寒害対策は、若木が中心の園地や寒害が懸念される園地で行いましょう。主枝にワラを巻きつけ、被害が特に心配される園ではワラの上からビニール資材を巻きつけます。こうすることで耐寒性を高め、主枝上部の樹皮のめくれを防ぐことができます。

カキ



樹勢を長く健全に維持するためには、整枝・剪定が欠かせません。

整枝・剪定は、収量、果実品質に直接影響し、その園地の栽培体系を決定する重要な作業です。「切り返し剪定」は樹勢を強め、「間引き剪定」は樹勢を落ち着かせる役目があります。休眠期の作業として、適切な整枝・剪定に努めましょう。

近年、炭そ病が多発している園地が確認されています。徒長枝や風通しの悪い密植園で発生が助長される為、来年度の対策として、感染枝の除去や間伐、園地内の落葉・果実の掃除を行い園地外に持ち出してください。

剪定の進め方

- ① 太い不要な枝を除きます。
- ② 垂主枝と側枝は、枝の先端から三角形を描くように切除します。
- ③ 上下が重なるような枝は、下を優先して残します。
- ④ 内向枝、交差枝は迷わず切除します。
- ⑤ 直上枝は更新するとき以外は切除します。
- ⑥ 競争相手となる枝は、切除します。
- ⑦ 更新以外は、側枝は間引き剪定とします。
- ⑧ 小枝は剪定しません。
- ⑨ 枯れ枝は切除します。

土壌分析をしましょう！

土壌分析を希望する方は、乾燥させた200g程度の土を袋に入れ、住所・氏名・電話番号と品目名(水稲・キャベツ・ミカン等)を記入し、1月16日(金)までに各営業センターまでご持参ください(1点500円)。分析結果は2月中旬ごろにご連絡いたします。

地域の活動も お届けします！

ふれあい TOPICS



管内の小学校、幼稚園を対象に実施しているダイコン、ブロッコリーの「野菜袋栽培体験学習」は、当地域の各組織が協力する特色を持っています。栽培期間中は男性食農サークル「やろう会」と営農指導員が各所を2巡し、生育状況をチェックシートに記入。担当教諭に栽培指導を行いました。

巡回では丁寧な栽培管理で順調な生育を確認。会員は「過去のアドバイスを守ってくれている」と太鼓判を押し、収穫どきまで日照の確保や生長に合わせた水やり、害虫の注意点を指導しました。

1月からは女性会会員が講師となる調理実習が始まります。

野菜袋栽培体験学習
やろう会が巡回指導



冬瓜部会が中央営農センターで採種用トウガンの品評会を開きました。当地域のトウガンは、濃緑で美しい俵型が特徴のオリジナル品種。苗は部会員が栽培する種から育てています。一方、自家採種は年数を重ねると収量、品質が不安定となる課題があります。優良系統の確保で、更なる高品質安定生産に繋げていくことが目的です。

部会員から25個が出品され、部会役員、市場・JA担当者が肥大性・形状など5項目を評価。1月上旬に採種します。取り組みは3年度目。貴志年伸部会長は「毎年出品数が増え、品質も向上している」と手ごたえを掴んでいました。

更なる高品質安定生産へ
採種用トウガン品評会



第3回は新米の季節！「サツマイモと梅干しの炊き込みご飯」「レンコンもち」「だし巻き卵」「小松菜とホタテのスープ」「シユガラスク&チョコレートラスク」の5品に挑戦しました。

慣れた手つきで作業する人が増えましたが、今回は調味料の種類が多く、味見をしていない班には「味が薄い！」「だし入れた？」と指摘が入る場面も。だし巻き卵は経験者も苦戦。講師がお手本を披露し、歓声が上がりました。気になる出来栄は：ラスクを厚くしたり、だし巻きにネギを入れたりとアレンジが光りました。次回はダイコンを使った料理です。

men'sキッチン吉宗
新米に合う料理を学ぶ



わかやま地域はキャリア教育の一環として、中学・高校から職業体験学習を受け入れています。11月は農産物直売所「愛菜てまりっこ」かせい・いさお・しかごなかのしま・おかざき店で和歌山商業高等学校2年生が農産物の品出し、来店者対応などを体験。農家とのコミュニケーションも深めました。

しかごなかのしま店で体験した山田康誠さんは将来、接客業を志望しており「来店者に感謝されて嬉しかった。改めて接客業に携わりたいと思った」と就労観を固めた。店長は「農家・来店者対応も丁寧だった。現場の感覚を掴んでくれたと思う」と評価しました。

未来を担う人材育成を支援
和歌山商業高等学校が体験

女性の集い

和歌山ビッグホエールで
第4回女性の集い「ポッチ
ヤ大会」を開き、女性会と
「フレッシユミズはるか」
から全49チームが参加しま
した。各コートでは選手の
一挙一動に注目が集まり、
決勝は息を飲む展開に。木
本支部の「バイキンマン」
が優勝し、準優勝は直川支
部の「べっぴん三姉妹」と
なりました。上位4チーム
はポッチャ県選手権大会に
出場！惜しくも入賞を逃
しましたが「来年こそは！」
と力を込めていました。



キラキラ女性会

第13期女性大学開校式・第1回講座



第13期女性大学は20人が受講
します。開校式では堀川会長が
「新しい仲間と長く付き合える
関係になってほしい」とエール
を贈りました。第1回講座はク
リスマスをモチーフとした花木
でスワッグ作りを学習。受講生
は「普段できないことを仲間と
体験していき
たい」と笑顔
を見せました。
これから1年
間、楽しみです。



小倉支部

地域の小倉文化まつりに参
加し、パッチワークや服飾な
ど手芸作品27点を展示しまし
た。「もっとスペースが欲し
かったネ」と皆さんに言われ
るほど大好評！一緒に参加
した高積支
店職員の方
どの模擬
店も人気で、
楽しい1日
となりました。



女性会活動

3回目のフードライブ活
動は、中央ブロックの強化月
間。飲食料69点をフードバン
ク和歌山に寄贈しました。西
和佐支部の金谷真里支部長は
「会員の意識が高まり、不
要に買わないように心がける
ようになった」と話しました。
今年度の最終回は東ブロッ
クです。ご協力いただけ
方は、2月
20日～27日
の間に支店、
営農センタ
ーまで、ゼ
ひ、お願い
します。



INFORMATION

児童養護施設に新米を寄贈



地域貢献活動の一環として、管内の児
童養護施設3学園に合計300キロの新
米「にじのきらめき」を寄贈し、大変喜
んでいただきました。

わかやま地域 年末年始営業のお知らせ

(本店・地域本部・支店、その他については23ページをご覧ください)

12月	26日金	27日土	28日日	29日月	30日火	31日水
ATM	通常稼働					
営農センター	通常営業			休		
給油所(SS)	通常営業		休	通常営業		休
愛菜でまりっこ	営業 (8:30～17:00)				営業 (8:30～16:00)	休
1月	1日木	2日金	3日土	4日日	5日月	6日火
ATM	通常稼働					
営農センター	休			通常営業		
給油所(SS)	休				通常営業	
愛菜でまりっこ	休					通常営業

愛菜てまりっこ 1〜2月

1月6日(火)
初売り!
新年初営業!



1月10日(土)
てまりっこの日

令和8年最初の大特価!
地場産野菜が大特価!
数量限定で福袋を販売!
中身は買「て」のお楽しみ♪



1月23日(金)〜24日(土)
感謝セール

令和8年も皆さまに感謝の気持ちを込めて、地場産野菜が大特価!!

1月31日(土)
愛菜(妻)の日

「愛妻の日」で「愛菜の日」!
家族団らん。
おススメの食材がずらり!



2月10日(火)
てまりっこの日

月に一度の大特価!



Instagramで
お得な最新情報を
発信中!

無料相談会

弁護士無料法律相談会

権利・示談・債務・相続：など、組合員の皆さまの法的な相談に、弁護士が直接ご対応します。

「開催日時」毎月第4木曜日

9時30分〜12時(お一人様30分程度)

「開催場所」わかやま地域本部2階第3会議室

1月の開催日は1月22日(木)です。

相談には予約が必要です(先着5組)。最寄りの支店またはわかやま地域本部総務部(☎471-3731)までお問い合わせ・お申し込みください。

なお、今回の開催予定は2月26日(木)です。

年金相談会／相続・遺言相談会

社会保険労務士・税理士が直接ご対応いたします。事前予約が必要です。開催支店にお問い合わせ・お申し込みください。

「開催日程」

1月15日(木) 宮前支店 ☎476-5511

2月19日(木) きのかわ支店 ☎455-3221

開催時間はいずれも10時〜15時です。

ローン相談会

住宅ローン・リフォームローン・カーローン・教育ローンなど。借換、お見積り、お気軽にご相談ください。

☎423-4160

平日(9時〜17時)・日曜(10時〜16時)

MY FAMILY

ももちゃん(4才・柴犬)

名高武史さん 藍子さん

伊織くん・翔馬くん(津秦)

これからも家族みんな健康に過ごしていきたいです。



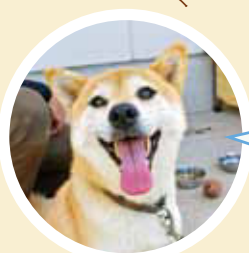
長男の伊織くん(左下)は1歳のとき、広報誌に登場していただきました。あれから8年、次男の翔馬くんやももちゃんも増え、みんなで元気に過ごしています。



しっぱをフリフリする姿がとってもかわいいももちゃんは、トマト栽培に勤しむ名高家の一員です。3年前の桃の花が咲く春、ご近所さんから譲り受け、迎え入れました。武史さんにとって40年ぶり、待望の愛犬です。

撫でられることが大好きなももちゃんは、来客にはしっぱを振ってお出迎え。近所の子どもたちからも愛されるアイドル的存在です。

育ち盛りで走り回るのも大好き。リードを繋ぎ間違えた際、脱走したことも。慌てた武史さんはサンダルのまま飛び出し、心配で涙目になりながら探したそうです。一方、カラスがももちゃんのごはんを狙って来



家族でたくさんお出かけしたいワン!

食後に出る歯磨き用のガムが大好物。デザートのようなガムがあると残さずごはんを食べるそうです。



いつもは穏やかなももちゃんですが、ボールを見るや闘争心MAX! 兄弟でキャッチボールをしていると全力で奪いに行き、取ったあんなに放しません。